

マイマイガ（蛾）の卵塊の除去にご協力ください

今年、市内各地でマイマイガと呼ばれる蛾が例年になく発生しています。マイマイガの幼虫は森林害虫で、さまざまな木の葉（主に広葉樹）を食害し、大量発生することもあります。

また、成虫は人体に害を与えないと言われていたますが、（ただし、鱗粉が皮膚や目に付くと痒くなる場合があります。）幼虫に触れると皮膚の弱い方は赤く腫れたり、痒みを伴うことがあります。

マイマイガの除去・駆除方法は、卵塊（7月～翌年3月ごろ）の除去か幼虫（4月～6月ごろ）を駆除することが最も効果的です。成虫（7月～8月ごろ）になると、効果的な方法はありません。

成虫の寿命は短く、7日から10日ぐらいと言われています。



マイマイガと卵塊



ペットボトルを利用した卵塊の除去方法

◆卵塊の除去

翌年以降の大量発生を防ぐためには、卵塊をできるだけ除去することが、最も安全で効果的です。

ご自宅や事業所で卵塊を見かけた場合には、卵塊の除去にご協力ください。

卵塊の除去は、へら状のものかペットボトルを半分に切ったものを使用すると効果的にはがせます。除去した卵は、燃やすごみとして出してください。

◆除去作業の注意事項

- ・作業の際は、卵塊を覆っている鱗粉が目や鼻、のどに入らないようマスク、ゴーグル、手袋などを着用してください。
- ・高所の卵塊の除去は、転落防止に十分注意し、無理のない範囲で安全に作業してください。
- ・電柱や電灯などの高所に登っての除去作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



成虫は、水銀灯の照明や白っぽい外壁を好み、卵を産み付けます。

防犯面に配慮した消灯や誘虫性が低いとされるLED灯への交換も有効です。

☎環境対策課環境対策係 ☎63-3113